

上三川町総合教育会議 会議録

会議の名称	令和4年度上三川町総合教育会議
開催日時	令和5年1月26日(木) 午後2時39分 開会 ・ 午後3時54分 閉会
開催場所	上三川町立明治小学校 2階 図書室
議長の氏名	星野光利町長
出席者(委員等)の氏名・出席者数	星野光利 町長 氷室 清 教育長 吉田由美 職務代理者 清水智生 教育委員 関 美恵 教育委員 松枝健一 教育委員 出席者6名
欠席者(委員等)の氏名・欠席者数	欠席者 0名
意見を聴取する者の職・氏名	明治小学校長 平塚 昭仁
事務局職員の職・氏名	総務課長 星野光弘 総務課長補佐 信夫一行 総務課総務人事係長 前原昌史 教育総務課長 佐藤史久 教育総務課長補佐 野口敏弘 教育総務課課長補佐兼指導主事 渡辺友見子 教育総務課課長補佐兼指導主事 吉澤紀子 教育総務課課長補佐兼指導主事兼管理主事 多賀充利 生涯学習課長 星野和弘 生涯学習課長補佐 深谷 昇
会議次第	1. 開会 2. 町長あいさつ 3. 議事 (1) 外国語教育及びICT教育の充実について (2) ORIGAMIの町づくりを目指した学校での取組について 4. 閉会
配布資料	1. 令和4年度学校教育概要 2. 令和3年度目指す資質・能力考察(職員資料) 3. 学校教育におけるORIGAMIプロジェクト報告

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
総務課長	<p>皆様こんにちは。定刻より早いですが皆様お集まりですので、ただ今から、令和4年度上三川町総合教育会議を開会いたします。</p> <p>本日の司会を務めさせていただきます総務課長の星野です。よろしくお願いいたします。</p> <p>先ほどまで、明治小学校の授業を視察いただきましたが、本日の総合教育会議は、視察した内容に沿って議事を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>それでは早速ですが、次第に沿って進めてまいります。開会に当たりまして、星野町長からご挨拶を申し上げます。</p>
星野町長	<p>皆様こんにちは。教育委員の皆様には、ご多用の中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>また、明治小学校の平塚校長先生をはじめ、教職員の皆様には、コロナやインフルエンザの対応等でお忙しい中、このように授業を公開いただきまして、改めて感謝申し上げます。</p> <p>年末から、コロナの陽性者も増え、まだまだ安心できないところであります。学校での感染者や濃厚接触者が多くなり、学級閉鎖などを繰り返していることは報告を受けています。家族の方々も、教職員もご苦労なさっておいでだろうと推察するところです。</p> <p>本日は、この後の議事として、外国語教育やICT教育、また、町全体で進めている「ORIGAMIの町」づくりに、学校の取り組みなどを話し合う予定となっておりますが、委員の皆様には、ぜひ忌憚のないご意見を頂きまして、町としましても、子どもたちのためによりよい教育環境づくりを進めてまいりたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
星野総務課長	<p>では次に、次第3の協議事項に移らせていただきます。協議の進行については、星野町長にお願いをいたします。</p>
星野町長	<p>それでは、暫時の間、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。早速、協議に入らせていただきます。</p> <p>本日の議事は2点あり、1点目は、「外国語教育及びICT教育の充実について」、2点目は、「ORIGAMIの町づくりを目指した学校での取組について」となります。</p> <p>まず、本日授業を公開いただきました、明治小の平塚校長先生がおいでになっておりますので、明治小学校での取り組みや、学校の教育活動などについてご説明いただきたいと思います。よろしくお願いいたします</p>

平塚校長	<p>それでは、まず、学校経営と概要について説明をさせていただきます。最後のところで議事に関するものがありますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本校は、明治 6 年に創立され、来年度で 150 周年を迎えます。今年度の児童数は 151 名で、年々減少傾向が続いております。</p> <p>職員数は 21 名で、新規採用職員が 1 名おります。</p> <p>学校の基本目標は、ご覧のとおりです。体育館前の石碑には、具体目標が刻んであります。</p> <p>これらを具現化するため、本校の特色の良さ、子ども、地域の実態等について、教職員全員で話し合い、本校が目指す資質能力を表現力、自律性、判断力、コミュニケーション力の 4 つに決め、育成を図ってきました。</p> <p>学校経営のグランドデザインです。具体目標を花に例え、花を咲かせるためには葉の部分に書かれている指導を行っていきます。赤字で葉に書かれているのが、4 つの資質能力と関わる項目です。</p> <p>設定した資質能力は、児童保護者、地域と共有しました。子どもたちに資質能力を直接伝えるのは難しいため、学校のスローガンを「やってみよう」「一日挨拶やってみよう」「親切にやってみよう」と呼びかけてきました。また、親切をしたら写真にあるようなポスターにシールを貼るなど、行為を「見える化」にしました。</p> <p>保護者には、PTA 総会、学校だよりで目立つキッズ能力を伝え、協力を呼びかけました。</p> <p>地域には、学校運営協議会で資質能力とその考察を伝え、ご意見をいただいたり、ホームページに掲載したりしました。</p> <p>次に資質能力を、どんな場面で育成してきたかについてお話しいたします。はじめに表現力です。学習場面に焦点を置いて育成してきました。</p> <p>明小スタンダードを作成し、教師の授業の進め方の指針としています。その中で資質能力の育成を目指した指導の仕方について定義し、共通理解を図っています。</p> <p>学校課題研修では、音楽を中心に表現力の育成を目指し、研究を進めてきました。また、研究の成果を昨年 11 月に宇都宮市と上三川町の先生方へ授業とともに公開しました。</p> <p>表現力の育成は、音楽以外の評価でも行っています。自分の考えを、他の友達に伝える活動を多く取り入れてきました。</p> <p>運動会では、自分の思いをダンスで表現しました。また、得意なことや、やりたいことを全校児童の前で発表する「明小びっくり文化祭」を開催し、表現の場を増やしてきました。これが先ほどの新聞紙による折り鶴で、一番初めに子どもたちが披露した場面になります。</p> <p>次に自律性です。自分のやるべきことを理解して、自ら取り組める力を育成します。主に、児童指導の場面で育成しています。これは、明治小の 7 つの約束です。そうした基本的生活習慣のモデルを子どもたちに示すことで、規範意識の</p>
------	--

設定を図っています。

委員会や係活動では、自分の仕事に責任を持つことを中心に指導にあたっています。代表委員による挨拶運動や体育委員会においてボールの投げ方教室など自分たちで考えた活動も増えてきました。

高学年は、行事の役割を通して自律性を高めています。

本校では、縦割り班の活動が多くあります。また、1年生の朝の準備、芋掘り、スポーツテストのやり方など、高学年が低学年に教える場面が多くあります。そうした活動の中で、高学年は学校のリーダーとしての自覚を高めていきます。

これは、保護者に配布している家庭学習の手引きです。家庭学習も自律性を高める大切なポイントと考えております。

次は判断力です。主体的に危険を回避する力を子どもたちにつけたいと思っております。

月に一度の安全の日には、各学級で20分程度、安全について指導をしています。また、朝会で校長が安全に関する話をする事で意識を高めています。

避難訓練は、火災地震、竜巻、不審者について実施しています。そのうちの何回かは、子どもたちに予告なしで避難訓練を行い、突然の災害でも慌てないようにしています。

その他、外部講師を招いて安全についての講習を実施しています。

また、着衣水泳体験、毎月の登校班長会、毎日の下校指導、長期休業前の安全指導を行っております。

地域や行政とも繋がりながら、子どもたちの安全を大人が見守っています。こうした大人の姿を見ながら、判断力の大切さを学んでくれればと思います。

最後にコミュニケーション力の育成です。これから多様な人と関わっていくうえで、子どもたちにとって必要不可欠な力と考えています。授業で友達と関わる場面を増やし、居心地のいい学級経営を目指すことで、育成を図っています。

これは、明治の子ども仲良しルールです。子どもたちに友達との望ましい関わり方について整理しています。また、いじめなどの児童アンケートを実施し、いじめの実態把握に努めています。教育相談は年に2回実施し、気になる児童がいる場合には、月に一度の児童指導連絡会で全職員に共通理解を図っています。

外部の人と関わる機会を増やすことで、コミュニケーション力を高めています。5年生の総合的な学習の場では、地域の里山の会の方々に自然について教えてもらっています。授業は全て地域の方が行ったださり、子どもたちはこの学習を通して地域の方との交流を深めています。

里山学習以外でも、地域の方と交流する機会が多くあります。本年度は、学校環境緑化モデル事業でいただいた助成金で、花壇を作り、花壇や樹木等の手入れを通して、コミュニティセンターを利用する方々との交流を図りました。

外部講師を招いて授業していただき、たくさんの方と触れ合う機会を作っています。なお、資質能力の成果と課題については、別紙でプリントを配布させていただきましたので、この場では割愛させていただきます。

最後に英語、ICT、折り紙の学校の取り組みについて説明いたします。

外国語は5、6年で教科化され、週に2時間授業を行っています。ゲームを通して英会話を使って行きます。最後に、自分が今日覚えた英会話をノートにまとめています。1から4年生は外国語活動として、中学年が週に1時間、低学年が年に12時間授業を行っています。

これらの授業は全てALTと担任の二人体制で行っています。ただ、本日についてはALTが他の学校へイングリッシュデイということで出張しておりますので、一人で行いました。

今申し上げました、年に1度の上三川町のALT全員が集まって、全学年の子どもたちと触れ合うエンジョイイングリッシュデイを行っています。また、5・6年生を対象に英語力がどれくらい身についているかを評価するパフォーマンステストも行っています。

子どもたちは、ALTと自然な形で会話している様子が見られます。

次にICT教育の充実についてお話いたします。国のGIGAスクール構想で1人1台タブレットが配られ、タブレットを使って発表したり、タブレットをキーボードの代わりにしたり、体育で自分の動きを動画で撮ったり、様々な使い方をしています。

授業では、本日見ていただいたように教師が出した課題について、子どもたちに自分の考えをタブレットで書かせ、全員分の考えをテレビに映し出し、ここから話し合いをすることもあります。

学校でのリモート接続体験と家庭での接続テストを行いました。臨時休業等に備え、リモートで授業を受けられるようにしています。プログラミング教育については、どの学年も年間4時間程度学習しています。

リモートでの授業により、子どもたちの学びの保障ができたことがICT教育の成果として挙げられます。また、新たな授業形態が可能となり、情報活用能力が高まってきました。課題としては、トラブルへの対応、個人情報・有害サイトへの指導を、今後重点的にしていかなければならないことがあげられます。

ICT教育とは別になりますが、メール配信システム「すぐーる」の導入によって、児童の出欠が大変把握しやすくなりました。また、家庭あてのプリントをメールで送れるようになり、教員の働き方改革につながっております。

折り紙については、町全体で作成した年間計画を基に授業に取り組んでいます。2年生が1年生へ折り紙をプレゼントし、施設訪問したお礼に折り紙を渡したりしています。4年生は、社会科の地域の発展に尽くした人々、本日見ていただいた授業になります。5年生は、道徳の折り紙に対し、6年生は国語の町の未来を考えようという単元で折り紙について学習しました。

授業だけでなく、いくつかのイベントも実施してきました。上三川町で企画してくださっている巡回折り紙展、テレビ局の取材、校内折り紙コンテストなどを行いました。運動会では6年生が自分たちで企画したデータリレーを行いました。ここでも折り紙が使われています。

	<p>教室や廊下の提示物に折り紙は多く使われるようになりました。また、教室の中には自由に使える折り紙が置いてあり、作った作品を入れるストック箱もあります。図書室には折り紙コーナーを作り、折り紙の本を紹介したり、子どもたちが本を見て作った作品を掲示したりしています。</p> <p>こうした取り組みの中で、折り紙が自然と学校生活の中に溶け込んでおります。以上で学校経営方針等の説明を終わりにいたします。お時間をいただきありがとうございました。</p>
星野町長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>次に「ORIGAMIの町づくりを目指した学校での取組について」、これまでの学校教育の取り組みについて、指導主事の方から簡単にご説明をお願いします</p>
吉澤指導主事	<p>それでは、私の方から、「ORIGAMIのまちづくりを目指した学校での取組について」先ほど校長先生からのご説明と重複する点もございますが、お手元の資料、学校教育における ORIGAMI プロジェクトを基にご説明させていただきます。</p> <p>ORIGAMI の町づくりのためには学校教育の中で折り紙を根付かせていくことが大切であるとの考えの下、令和 2 年度より「ORIGAMI のふるさとかみのかわプロジェクト」を立ち上げました。学校での教育課程上でどのように位置づけ、展開していくか、7名のプロジェクト委員を中心に検討が開始されたところです。</p> <p>令和 3 年度には、小中学校の全校にプロジェクト委員が委嘱されまして、全校で取り組んでいくことが改めて確認されました。</p> <p>学校教育の中で折り紙を定着させるためには、イベント的なものだけでなく、日々行われている児童生徒の学習の基となる年間指導計画に位置付けることが大切であるということで、教育課程いわゆる各教科のどこに落とし込んでいくかを検討いたしました。</p> <p>プロジェクト委員による検討を重ねた結果、そちらに記載させていただきましたが、小学校においては、1年生から6年生の各教科に位置付けました。具体的には、1年生が生活科「もうすぐ2年生」の中に、新1年生へ折り紙を活用したプレゼントを作成する授業。</p> <p>2年生が同じく生活科で「わくわく2年生」の中に、1年生と名刺交換する場面でプレゼントに折り紙を活用する授業。</p> <p>3年生が社会科「わたしたちの上三川町」の単元において、町内の施設見学の後に、お礼の手紙に折り紙を添える活動。</p> <p>4年生社会科では、「郷土の伝統・文化と先人たち」という内容で、郷土の発展に尽くした先人の学習として「吉澤章さん」を取り上げ、吉澤さんについて学び、また、吉澤折り紙を折ってみる内容となっております。本日公開していただ</p>

いた授業においても授業の導入において吉澤先生が折った先生の作品を見せ、どんな人なのか知ろうという目的の下に授業を進めていただきました。

5年生の道徳科「折り紙大使」では、学習過程の最後に教師の説話として4年での学習を踏まえて「吉澤章さん」に触れ、折り紙作品をつくる展開をしております。

6年生の国語科では、「町の未来を描こう」という単元で、「町づくり」に関するプレゼンテーションを児童が考え、発表する授業というように、各学年に位置付けられております。

また、中学校においては、1年の総合的な学習の時間に「地域を知る・学ぶ」の学習において「吉澤章さん」について、また、「折り紙の町」などをテーマに基づき課題解決学習の中で、実践できるよう位置付けました。

今週火曜日に開催いたしました折り紙プロジェクト会議の中でも、各校のプロジェクト委員の先生方から今年度の各校の実践が発表されました。年間計画の内容はもちろん、それ以外にも、折り紙と関連付けられた実践が各校で積極的に取り組まれております。

また、小中学生やその保護者等が町の行事やイベント等にも関心を持ち、町づくりの一翼を担うことができるよう、町の折り紙フェスティバル等にも協力しております。町フェスティバルや国体プレ大会である全日本フェンシング選手権でも児童・生徒の作品を展示させていただきました。また、創作折り紙学校巡回展も行いまして、今年度については明治小学校様をお借りしまして巡回展を行っております。

他にも、ウクライナ支援・サッカー応援等の千羽鶴等の作成等を行いました。それら千羽鶴は、庁舎内に掲示されたり、サッカー協会に贈呈されたりしております。

なお、各校には令和2年より町予算をいただき、各校への折り紙や本の配布を行っております。

最後になりましたが、明治小学校 平塚校長先生におかれましては、令和2年度より ORIGAMI プロジェクトの委員長をお引き受けいただいております。プロジェクトをまとめていただく他、新聞等各種メディア対応も快くお引き受けいただいております。ORIGAMI プロジェクトの広報活動が行えますこと、改めて感謝申し上げます。

今後は、他の教科や単元においても折り紙との関連の可能性を探りながら、さらに年間指導計画に位置付けられた内容をさらに磨き上げていくとともに、折り紙普及指導員を活用した授業の展開や、各イベント等への協力等を進めてまいりたいと考えております。

それでは、私の方からは以上です。

ありがとうございました。

外国語教育が、3年生以上となったことや、中学校卒業の時の英検3級の達成

星野町長

<p>関教育委員</p>	<p>率が目標設定されたこと、また、ICT 環境の整備については、それぞれ、4 年・5 年前の総合教育会議でも議題として取り上げられたと思います。</p> <p>議事としては二つに分かれておりますが、一括して話し合いたいと思います。</p> <p>それでは、教育委員の皆様から、実際の授業を見てのご意見を伺いたいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>今日は、授業の場を見させていただきありがとうございます。ICT 教育で子どもたちは、「これをしてください」という指示に対してスムーズにやっていたと感じました。ICT についてはいろいろな課題もありますが、運用し始めてから 3 年が経過し一人 1 台いきわたり、非常にレベルが高くなっていて、子どもたちの、スタートアップ、操作の速さを目の当たりにして、実際に活きているかなと思いました。</p> <p>大学生の子どもたちが今、そういうものが無い中で大学に入ってしまう、今の大学では当たり前のように ICT の機器がそろっており、授業形態、テストも行っているのです、そうした時にテストが受けられなくなっていた子がいて、同時にテストに出られなかったという事象があったということを知っています。</p> <p>このような授業で実際に使っていただいて、それを支えてくださっている先生方にも進めていただきたいです。</p>
<p>星野町長</p>	<p>その他にございますか。</p>
<p>松枝教育委員</p>	<p>ICT 教育についてですが、各授業において、時間的にはどのくらい取っているのですか。また、プログラミングなどを考える授業なのですか。</p>
<p>平塚校長</p>	<p>ICT に関しては、この授業でこれを使いなさいというような連携もあるわけではないので、各担任の判断になります。時間的に言うと本当に一日中タブレットによる授業の日もあります。</p> <p>話し合いが中心という單元では全く使わない場合もあります。</p> <p>以前は、ICT 機器を使う授業は特別な授業という形でありましたが、今は普通に先生たちが休み時間の前に使う旨の話をして、普通にそのまま使うというふうになっています。なんとなくコミュニケーションがとれないのではないかと思われがちですが、そんなことはなくて、コミュニケーションを取りながら進めているところです。</p>
<p>星野町長</p>	<p>その他にございますか。</p>
<p>清水教育委員</p>	<p>学校訪問において、タブレットを使った授業を何回か見させていただいた中で、お子さんたちは、スムーズにできていると感じました。中には慣れていない</p>

<p>平塚校長</p>	<p>というか不得意なお子さんたちが、何人かいるのかなと思うのですけれども、今日の授業を見ると皆さん平均して取り組んでおり、操作についても吸収しているのかなと感じましたが、ついていけないお子さんがいた場合に、再指導を行ったりはしていますか。</p> <p>実際に画面が出ないと次に行けないので、授業の中ではできない子がいると周りの子が教えたり、先生と一緒にいたりしながら、それが出来たら次に行くということが多いのですが、それに対して時間がかかった場合もあります。</p> <p>その慣れていない子も、ある程度の操作はできるようになってきました。今後、新しいことをやる時には、慣れていない子についての配慮が必要になってきます。</p> <p>昼休みや放課後に教えるといったことは行っておりません。</p>
<p>星野町長</p>	<p>その他にございますか。</p>
<p>吉田職務代理者</p>	<p>明治小学校のお子さんに関わる人が多いもので、教室にいる子どもたちの顔と放課後の居場所ということで預かる顔と朗らかな表情をした顔と真面目に授業を受けている顔と、今日は元気な姿を見られています。</p> <p>学校の活動につきましては、自分なりには承知しているところもあるかなと思うところと、実際に教室の中を見させていただいて、細かいところに先生が配慮されている活動もありましたので、拝見することができまして、よかったと思います。</p> <p>折り紙につきまして、以前に比べると至る所に折り紙が飾ってありまして、明治コミュニティセンターで毎月 1 回、高齢者世帯とか障害者に対してお弁当をサービスで配布しております。</p> <p>その際に 3 年生・4 年生が、お弁当にかける紙を作ってくださいまして、そこに折り紙を折ったものをつけてくださいました。また、1 月の配食の時にいただいたのですが、兎年なので、うさぎの折り紙や富士山の折り紙など新年をイメージした折り紙が多かったので、それに「新年あけましておめでとうございます。今年も元気で頑張ってください」という高齢者に向けたお手紙が付けてありまして、そういう活動を通して、あの子どもたちと地域に関わる活動ができているなって感謝申し上げます。</p> <p>子どもたちがコミセンに来た時も「折り紙をください」と言って渡して、折り紙を教え、年に一度ですがお手紙をいただいて、それにも折り紙で、なんか花束みたいなイメージとした折り紙を作ってくださいまして届けてくださるので、その辺は大変嬉しく思っています。</p>
<p>星野町長</p>	<p>私の方から平塚校長先生に質問なのですが、ICT 教育が始まって現時点での取り組みについてです。</p>

<p>平塚校長</p>	<p>学校現場として、こんなことが良かったと評価されること。導入前と、現時点でこの ICT 教育を進めてきた効果やその子どもたちの成長につながったなど、当然、高学年や低学年などでは違うと思いますが、漠然とした質問で申し訳ないのですが、それと同時に学校の先生は、タブレットを利用して授業をするわけですから、準備に対しまして相当ご苦労されているのかなと感じております。</p> <p>先生方がご苦労になった点や、導入したことによってマイナスのことがあったら、そういうものを含めて現場の先生からお話を聞かせてもらえればと思います。</p> <p>一点目の ICT を使ったの効果というところですが、やはりあのリモートでやれるということがかなり大きいかなと思います。学級休業があった時に、先生が授業を家にいる子どもたちにできるというのは、学びを止めることもないので、コロナに感染したのでお休みしますっていう子ども、授業を家で聞いているので、例えば休んで 1 週間も休むと学校に行けなかったのが新たに教えるということも少なくなりました。</p> <p>子どもたちが今まで調べていた学習といえば、この図書室を使って本を使いながら読んで、それをまとめていたという作業が、今度は自分の手で、しかももっと広い情報がインターネット上にたくさんありますので、それらを使いながらできるようになってきたっていうことで、しかもそれをまとめることもできる。それもみんなで見るができる。ということが、子どもたちは新たな議論というところが、効果としてはあるのではないかなと思っております。ただ、本を読んで調べるということにも、利点がありますので、学校としてはこれらを バランスよくうまく使いながら、個の学習と集団の学習というものを、時間をかけて行っていかなければならないと思っていますところ。</p> <p>二つ目の質問の先生方の準備の時間ということですが、最初は時間がかかっておりました。例えば、プリントを子どもたちに授業で使う時には、これを作って印刷をして授業中に配っていましたが、今日の授業のように「みんなに送るね」と言って、ネットで修正をしたりできるので、逆に時間が短くなったということもあります。</p> <p>もしかして、先生方で一番困っているところは、先生が取る情報一覧シートが私のような年代と若い人たちで大きく違って、若い先生はどんどん発表していきながらも、私たちは活用しようと必死で、やっとなついていくという状況でありますので、今年に入って 7 回ほどミニ講習ということで、ICT の指導教員が全員の先生に「こういうことができますよ」、「これをこうしたらいいですよ」と自分の技術伝達の研修を行っております。時間的には、人によっては早くなって、人によってはものすごくかかってしまうというような一概で言えないところはあります。</p>
<p>星野町長</p>	<p>ありがとうございます。これから身に付けていけば、さらにこの効果が見込ま</p>

	れるということでもよろしいでしょうか。
平塚校長	小さいころずっとやってきた積み重ねになると、すごく様々なことで先生を超える子もたくさん出てきて、逆にそれを心配はしているところではあるのですが、例えば、授業中にあったことを子どもたち同士でも連絡が取れるので、いろいろな心配はありますが、これからますます変わっていくと思います。
星野町長	校長先生のお話をいただきましたが、皆様から何かございますか。 先ほど吉田さんから折り紙についてお話がございましたが、そのほか皆様から何かございますか。
松枝教育委員	先ほど授業を見させていただいたときに、ALT の先生は何人いらっしゃるのですか。
渡辺指導主事	私の方からお答えさせていただきます。現在、町の ALT は 7 名おまして、小中を合わせて各学校に訪問していただけるように予定を組んでおります。小学校と中学校を兼任しております ALT がほとんどですので、そういった意味でも小中連携はできているかなと思っております。 どこの小中学校に、毎日訪問するというわけではなくて曜日を決めて訪問しているところです。
松枝教育委員	ありがとうございます。
関教育委員	教科書を見させていただきまして教科書の内容がすごく充実していて、どこの授業を拝見しても、私の中学校 1 年生ぐらいにやっていた英語の授業を、今は小学校まで持ち込んでいるところで、英語教育は途中から始まって入ってきていますが、子どもたちは楽しみにやっている、使いこなしている、使われているのかなというところですが、中には、苦しんでいるというか、なかなか厳しい状態になっていて、一方で先生方には、今日は一人で担任の先生が授業をやっているしやいまして、スムーズに授業が行われていると思いましたが、そういった工夫などどのように行っているのかお伺いできれば。
平塚校長	授業についていけない子がいるかどうかというお話かと思うのですが、おっしゃるとおり聞くという作業と読む作業が教科間によって上から降りてきたことから、それに伴って楽しくない、好きじゃないっていう子はちょっと出てきました。それは本校に限らないことで、全国的にもそのパーセンテージが上がっているということです。 これにつきましては、先生と ALT で何とか子どもを乗せてきて、「それを書いてみようか」というような、わかりやすい授業のしぐさでやっていくしかない

	<p>ため、これから先ですが、先生方が授業についていけない子に対する対応っていうのも、考えていかなければならないというところでもあります。</p>
氷室教育長	<p>本町に在籍している ALT が一同に会し、「エンジョイイングリッシュデイ」ということで年 1・2 回各学校に集まっていたいただき、ALT と児童たちの交流を行っております。ALT が全員集まるというところで、実践的な会話をしております。</p>
平塚校長	<p>このことについてアンケートを取ったわけではございませんが、前日から「明日、イングリッシュデイだよ」と子どもたちが担任の先生に言うくらい、実際にゲームを 1 日中いろいろな学年に渡って行っているのですが、それを見て回っても、子どもたちの生き生きとしていて、なぜか全員一つに揃う、なんというのですか、特別感というか、子どもたちがそういう感覚があるのだと、非常に楽しみにしています。</p>
清水教育委員	<p>本日見させていただきました、タブレット端末を活用した授業に関して、大きい方の画面で一人ずつ回答したと思われるものを出しましたよね。画面に出す以前に、先生のパソコンの方で、子どもたちのどんな画面が出てくるかを、確認できたりはできるのですか。</p>
多賀指導主事	<p>ロイノートの中ではできると思います。</p>
清水教育委員	<p>名前を指定してここに 1 つが出てくるっていう感じですか。</p>
多賀指導主事	<p>そうですね。あの一覧でも出てくるようになっております</p>
清水教育委員	<p>なるほど。わかりました。</p>
吉田職務代理者	<p>今日は、なかよし組のクラスも見せていただきまして、本日は先生が一人で対応していたようですが、確認したところ別の授業に入っているということで、どのように授業を進めていますか。</p>
平塚校長	<p>なかよし 1・なかよし 2 組では、基本、算数はなかよしの教室に来てなかよしの先生と一緒にやるのですが、理科や社会、その他の教科は通常の学級に入りながらやっていきます。その時になかよし組の先生が、生徒が分からないときには教えてくれる。また、友達も教えてくれて、話を通常学級ですとなかなかそういうことができないということで、通常学級をちょっと渋るお子さんもいるので、その時には教科を絞って参加させながら自信を持たせるのが一番担任の先生がご苦労されているところですね。</p>

氷室教育長	<p>ただし、受け入れている学級の子どもたちが、とてもあの子たちは特別視をしてないですね。一緒に遊んだりもしますし、一緒に活動もしますし、そういったことで悪口を言ったりということもないので、その辺については恵まれているなと思っております。</p> <p>折り紙についてですが、どのように広がっていったか。具体的な話も聞いたことがありませんので、そのことについてお聞かせいただければ。お願いいたします。</p>
平塚校長	<p>折り紙の変遷については、把握してないところではあります。しかし、下にあった折り紙の展覧会に出したなかで、低学年の保護者からは「一緒に私も楽しませていただきました」というお話しされている方もいらっしゃいます。</p> <p>また、町で「折ってください」というような依頼があった時に、宿題にするのですが、予想ですが低学年は一緒におうちの方と折っているのではないかと。今お話を聞いて、子どもからおうちの方へ折り紙の良さを広げていくってということも、これから取り組んでいけるような気がしております。</p>
氷室教育長	<p>折り紙を宿題に出して、良い方向につながっていけばと思います。</p>
星野町長	<p>折り紙の話題になったので、学校で子どもたちが折り紙を折ったものを、先ほどケースに入っていた素晴らしいものを見せていただいたのですが、子どもたちが折った折り紙を披露する場合、公開する場というのは、今は学校ではどんなふうに行っていますか。</p> <p>学校内に置いてあるので子どもたちが見ることは可能ですが、一般の方や保護者の方が、子どもたちの素晴らしい折り紙の作品を、見られる場面というのは、今のところはあるのですか。コロナ禍で難しいところはあると思うのですが。</p>
平塚校長	<p>例えば、ショーケースに飾るときにはホームページに上げたりはしておりますが、それ以外で大人の方に見ていただく機会は、今のところはありません。</p> <p>これから先コロナの状況が少し収まってきた時に、子どもたちの折り紙展というのをできれば楽しいかなと思っております。</p>
星野町長	<p>その折り紙フェスティバルを開催し、子どもたちに参加していただいて、休みの日にお父さん、お母さんはもちろんですけど、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に「自分が折った折り紙がこれだよ」とか言って、その家族の人に連れてきてもらって、図書館南館に来られた姿を目にしたので、子どもたちが折った折り紙を学校以外のところで、中学校を含めて10校あるので、定期開催で毎月、例えば今月は明治小学校がこの場所を自由に飾っておきます。来月は本郷小学校の作品を飾っておきますなどといった形でできたら、子どもたちは、自分の作品を一</p>

松枝教育委員	<p>般の方に見ていただいて、私が先ほど言ったような光景が見受けられるので、そういうのがあったらいいのかなと思いました。</p> <p>まだ具体的に町として、何処でこのようなものをするという話ではなく、そんなことができたらいいな、公開する場があればいいなと思っています。</p> <p>下に飾ってあった作品は素晴らしい出来栄でしたよね。いいですね。</p>
平塚校長	<p>児童の作品がショーケースに展示されたときに、ものすごく子どもたちが喜んでいたのです。自分たちが折った作品をいろんな人に見てもらえるとしても、それが町のステージで上がったとしたら、これは大変喜ぶと思います。そうした中で、ある程度の枠組みができれば、町の小中学生の代表もその企画の中に入れさせていただきながら、子どもの意見を拾いながら大人と一緒にそういうものができるともものすごくいいかなと思います。</p>
星野町長	<p>企画の段階から子どもたちに入ってくださいね。</p> <p>分かりました。</p>
関教育委員	<p>1年生から始めていく、続けていく力が折り紙については、非常に大事になってくるかと思ひ、大作も魅力的なのですが、自分が一生懸命やっている作品というものを、みんなで分かち合えるのも大切だと思います。そして、自分たちの意見がどのように反映されて、展開していて、いつもお膳立てさせていただいている中に、作品だけを出すというよりも、共に組み立てていく、企画から入ることが出来ればありがたいなと思いました。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
吉田職務代理者	<p>関教育委員と同じで、やはり自分たちの意見を出して、企画・運営していくという子どもたちの姿勢があったらいいと思います。</p>
星野町長	<p>今のご意見を参考に、折り紙については、もちろん学校でも社会教育の場でも積極的に取り組んでいただきまして、町全体としても進めてまいります。1月から地域おこし協力隊の方に来ていただいて、「ORIGAMI の町」ということで町全体を産業や観光なども含めてPRをしていただくので、教育委員会部局と町長部局が連携を取って、結果的に「ORIGAMI の町」として注目を浴びて街の活性化つなげたい。そこに子どもたちの素晴らしいクオリティーが高い折り紙を楽しむに一般の方々に見に来ていただき、子どもたちの創作作品について子どもたち自身で企画をしていただき町内外に発信出来たらいいと思います。もしかしたら、外国人の方が見に来ていただけることもあるかもしれない。そのような形で展開できればと思っております。</p> <p>折り紙については、今後コンテストなども予定しているので、その点について</p>

深谷補佐	<p>深谷補佐説明願います。</p> <p>折り紙のプロジェクトについては、教育委員会全体のものでは全国規模のコンテストの開催を、一つ目標としておりますので、そういうところに行きつければと思っております。</p>
星野町長	<p>全国から集まるコンテストですが、ゆくゆくは多くの作品が集まるコンテストになるように企画していきたいと考えております。</p> <p>先ほど、英語の教育についていけない子の懸念がありましたけれども、来年度からALTの先生を1名増やし、幼稚園や保育園に行ってもらい、小さい頃から英会話を耳で早く覚えてもらおうと、学校の授業でも入りやすくなるのかなという考えでお願いしています。</p> <p>その他ございますか。</p>
清水教育委員	<p>図書館の南館を使って学校単位で折り紙展の開催についてお話がありましたが、それと併せて町民の方の展示を隣あたりに設けたりすれば、お子さんを通じて世代間での交流が芽生えるのではないかと思います。</p>
星野町長	<p>図書館の南館で折り紙フェスティバルを開催したのですが、南館については上三川小学校の学童保育の第一学童、第二学童が飽和状態であるため、改修工事をして第三学童とすることに決定しております。</p> <p>松枝教育委員、何かございますか。</p>
松枝教育委員	<p>来年度はイベントを何か計画されているのでしょうか。</p>
深谷補佐	<p>折り紙フェスティバルについては来年度も継続して開催ということで、9月下旬に開催する方向で関係課と調整をしております。先ほど町長から話がありましたとおり、今まで開催しておりました図書館南館が使えないということで中央公民館か体育センターのどちらかで開催できるよう検討を進めているところでございます。</p>
星野町長	<p>場所は変わってしまいますが、9月開催を今のところ予定しております。</p> <p>関教育委員、何かございますか。</p>
関教育委員	<p>保護者の立場からなのですが、「すぐーる」についてですが、欠席の連絡を入れた際に、先生方がいつ確認してくださったというのがこちらでも分かるので、非常にありがたく思っております。先生方が6時58分のこんな早い時間帯に学校にいらっしゃるということで、逆に先生方が大変だと感じましたが、本当に使い勝手がよく保護者の立場でも非常にありがたいです。</p>

星野町長	吉田職務代理何かございますか。
吉田職務代理者	折り紙の展示する場所ということで、文化財の研修に参加させていただいた際に古民家で展示や販売をしていました。そのような場所で開催できればと思うのですが、生沼邸の利用の仕方もあるのかなと思いました。
星野町長	生沼邸の活用については、最終的に寄贈していただける形の全容が固まってまいりましたので、今後、具体的な検討をしてまいりたいと考えております。 教育長何かございますか。
氷室教育長	折り紙については、普及指導員が非常に楽しみにしておりまして、自分が学んだものを誰かが発表する、教えてあげるものが出るなど、子どもたちと触れ合っ て良いつながりがあるというのが、折り紙の良さなのかなと思います。
星野町長	普及指導員の先生方が、折り紙を取り入れてくれたことで、そのこと自体の評価が、学校現場、学校の先生方の評価も高いということの話は伺っているのですが改めて平塚校長先生お願いします。
平塚校長	折り紙教材の強みというものを改めて思い知ったのは、子どもたちに折り紙を与えると、静かに低学年でも集中して折っている姿が見られるのです。これは教材として力があるものだとすごく感じています。 また、単体で1人が折るだけじゃなくて、それをみんなで合わせる事が出来るのです。ものすごく魅力的で、各学年に応じたいろいろな折り紙の良さを、子どもたちが学ぶことができるということです。これからまずは今ある連携を確実に伝えていくこと、そこに少しずつ足していくこと、あまり無理をしないで、少しずつ時間をかけていけばいいかなと思っています。 それだけのすごく良い教材だと思っています。
星野町長	そろそろ時間も来ましたので、最後にまとめという形で、ICTにしても外国語にしても折り紙にしても、皆さんのお話や学校の先生のお話を聞くと、現在も効果が出ているので、これからさらに強化していきたいというお話を伺ったところで、明るい未来や希望が期待される。 一方でどの教科にしても先ほども授業で、先生ご自身が折り紙に取り組みまれておりましたが、ご自身で勉強されなくてはならないということで非常に大変だなと思いますけど、授業には効果があるということをお話を伺っておりますので、先生の過度な負担ということは社会情勢の中で触れられておりますけど、子どもたちにとって評価が高いものであれば、そのような環境を全体で整えて、さらにより良いものをしていくのが我々の役目だと思っていますので、教育委員の皆様

<p>(各委員)</p>	<p>には機会があるごとにいろいろなご提案、ご提言をいただきまして、三つの取り組みについて町を挙げて進めてまいりたいと思います。</p> <p>また、今後も教育行政にご提言いただければと思いますのでよろしくお願いたします。</p> <p>以上でよろしいでしょうか</p>
<p>星野町長</p>	<p>はい</p> <p>以上で、総合教育委員会を終了させていただきます。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
<p>星野総務課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これもちまして、本日の会議は閉会とさせていただきます。長時間にわたり、ありがとうございました。</p> <p>以 下 余 白</p>